

○令和4年度事業報告及び収支決算

I 令和4年度事業報告（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

【概要】

令和4年度は第61回通常総会で承認された事業計画等に則り開発試験、普及活動等を展開した。

また、各事業の実行に当たっては、会員の協力を得つつ、学識経験者、試験研究機関等との密接な連携を図るとともに、経費の節減に努めた。各事業の概要は以下の通り。

【総会の開催】

○第61回通常総会

令和4年5月31日（学士会館）

（議案）

- (1) 令和3年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
 - (2) 令和4年度事業計画及び収支予算案の件
- 議案(1)、(2)は提案通り承認された。

【理事会の開催】

1. 令和4年度第1回理事会

令和4年5月9日〈学士会館〉

（議案）

- (1) 第61回通常総会に付議する事項について
- (2) その他

2. 令和4年度第2回理事会

令和5年3月17日〈学士会館〉

（議案）

- (1) 令和4年度業務中間報告（報告）
- (2) 令和4年度収支決算見込み（報告）
- (3) 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)（決議）
- (4) 会員の異動予定等
- ・その他（連絡・説明）

【監査】

令和4年4月18日、令和3年度事業及び会計の監査の実施

【会員状況】

1. 会員数

	令和4年 3月31日現在	令和5年 3月31日現在	差	
			入会	退会

維持会員	14	14	0	0
賛助会員	12	12	0	0
計	26	26	0	0

2. 異動会員

(1) 退会会員及び新規加入会員

該当なし

(2) 名称変更等

- ・ バイエルクロップサイエンス（株）→エンバイロサイエンスジャパン（株）
- ・ 三井化学アグロ（株）→三井化学クロップ&ライフソリューション（株）（23.03.31 以降）

【 開発試験関係 】

1. 試験結果の発表・検討会の開催

令和3年度林業薬剤等試験成績発表会

令和4年5月23日〈学士会館〉で開催した。

2. 令和4年度試験報告書の作成

「林業薬剤等試験成績報告集」 令和5年1月発刊

関係機関、試験実施者、調査委員会委員、委託会員等に配布

3. 令和4年度実施開発試験

〈除草剤関係薬剤〉

（植物成長調整剤）

- スギ花粉（雄花形成）抑制試験（樹幹注入）
 - 継続試験（処理4年目の効果） 〈公立林試1〉 1 薬剤
 - 継続試験（処理7年目の効果） 〈その他1〉 1 薬剤
 - 継続試験（処理8年目の効果） 〈その他1〉 1 薬剤
- ヒノキ花粉（雄花形成）抑制試験（散布）
 - 基礎試験（処理当年の効果） 〈公立林試1〉 1 薬剤

〈病害防除薬剤〉

- マツノザイセンチュウ防除試験（樹幹注入）
 - 新規試験（処理1年目の効果） 〈公立林試1〉 1 薬剤
 - 継続試験（処理3年目の効果） 〈公立林試2〉 1 薬剤
- スギ赤枯病防除試験（散布）
 - 新規試験（スギ苗木全体に散布） 〈公立林試2〉 1 薬剤

〈虫害防除薬剤〉

- カシノナガキクイムシ防除試験（樹幹注入）
 - 新規試験（マテバシイ樹幹（春）注入） 〈その他1〉 1 薬剤

(獣害防除薬剤)

1) ニホンジカ忌避剤効果試験

- 新規試験 (カラマツ苗木散布効果) <公立林試 2> 1 薬剤
- 新規試験 (カラマツ苗木塗布効果) <公立林試 1> 1 薬剤

2) カモシカ食害防止(忌避剤)試験

- 新規試験 (カラマツ苗木塗布効果) <公立林試 1> 1 薬剤

3) ノウサギ忌避剤効果試験

- 新規試験 (コウヨウザン苗木散布効果) <公立林試 1> 1 薬剤
- 新規試験 (スギ苗木散布効果) <公立林試 1> 1 薬剤
- 新規試験 (スギ苗木塗布効果) <公立林試 1> 1 薬剤

【令和 4 度 調査委員会】

1. 調査委員会の開催

令和 5 年 2 月 8 日 (学士会館)

出席者: 調査委員会委員、各部会長、関係機関等

2. 審議結果の報告会の開催

令和 5 年 2 月 14 日 (学士会館)

出席者: 各部会長、維持会員等

3. 調査委員会の審議結果(概要)

(1) 除草剤関係薬剤 (含む植物成長調整剤)

○HAT-521 液剤 (2ml/m³、4ml/m³スギ樹幹注入処理、群馬県) の花粉抑制効果について、2ml/m³、4ml/m³とも 3 年目において効果が認められ、薬害についても軽微であり、有効と判断される。

スギ花粉 (雄花形成) 抑制試験 (継続) (令和 3 年度調査)	樹幹注入 (処理 3 年目)	スギ	1 薬剤
--------------------------------------	-------------------	----	------

○HAT-521 (2ml/m³及び 4 ml/m³スギ樹幹注入処理、三重県) の花粉抑制効果の 6 年目については、2ml/m³、4 ml/m³ともに、一定の効果は認められるが、少花粉の年であり、抑制率が目安である 80%に達せず、有効とは判断できない。樹幹注入 4 ml/m³については、特に被圧木において薬害による枝枯れが生ずる懸念があることに留意するべき。

スギ花粉 (雄花形成) 抑制試験 (継続) (令和 3 年度調査)	樹幹注入 (処理 6 年目)	スギ	1 薬剤
--------------------------------------	-------------------	----	------

○HAT-521 (2ml/m³及び 4ml/m³スギ樹幹注入処理、三重県) の花粉抑制効果の 7 年目については、2ml/m³、4 ml/m³ともに一定の効果は認められるが、少花粉の年で、花粉抑制率が基準値を下回っており、効果ありとは判断できない。4ml/m³については被圧木ではあるが薬害の懸念があることに留意するべきである。

スギ花粉（雄花形成）抑制試験 （継続）（令和3年度調査）	樹幹注入 （処理7年目）	スギ	1 薬剤
---------------------------------	-----------------	----	------

(2) 病害防除薬剤

○SYJ-318 マツノザイセンチュウ防除試験 1年目の効果

SYJ-318 マツノザイセンチュウ防除薬剤は山口県において、1年目の効果が認められる。薬害は認められない。

マツノザイセンチュウ防除 （新規）	樹幹注入 （1年目の効果）	マツ	1 薬剤
----------------------	------------------	----	------

○SYJ-318 マツノザイセンチュウ防除試験 3年目の効果

SYJ-318 マツノザイセンチュウ防除薬剤は山口県において、3年目の効果が認められる。薬害は認められない。石川県では想定する効果が得られなかった。

マツノザイセンチュウ防除 （継続）	樹幹注入 （3年目の効果）	マツ	1 薬剤
----------------------	------------------	----	------

○トップジン M 水和剤スギ赤枯病防除試験

トップジン M 水和剤では、2試験（森林総合研究所（茨城県）及び群馬県）において対照薬剤と同等あるいはそれ以上の高い効果が認められる。薬害は認められない。

トップジン M 水和剤スギ赤枯 病防除（新規）	散布	スギ1年生苗木	1 薬剤
----------------------------	----	---------	------

(3) 虫害防除薬剤

○キルパー40 のナラ枯れマテバシイ枯死木への樹幹注入（春）

神奈川県におけるキルパー40 のナラ枯れマテバシイ枯死木への樹幹注入（春）によるカシノナガキクイムシに対する殺虫効果は登録薬剤 NCS と同等と認められ有効である。

カシノナガキクイムシ防除（新規）	樹幹注入（春）	マテバシイ	1 薬剤
------------------	---------	-------	------

(4) 獣害防除薬剤

○ニホンジカ忌避剤（KW-10）効果試験（北海道）

ニホンジカによるカラマツ幼齢木食害に対して、供試薬剤の10倍希釈水和剤散布には、忌避効果を持つ期間が約60日間あることが認められる。また、45日目に2回目の散布を行うことにより、忌避効果が約30日間延長すると認められる。翌年以降の伸長成長・肥大成長への影響や連年散布による影響を評価する必要がある。

ニホンジカ忌避剤効果（新規）	1回及び2回散布	カラマツ （2年生）	1 薬剤
----------------	----------	---------------	------

【受託事業】事業の掘起こし等に努めたが、結果的に当該事業なし。

【普及関係】

1. 講演会の開催

- (1) 令和4年11月11日 (学士会館)
- (2) テーマ及び講師
 - ・「最近の森林病虫獣害被害等について」河合正宏林野庁森林保護対策室長
 - ・「クビアカツヤカミキリとその防除について」加賀谷悦子森林総研昆虫生態理研究室長
- (3) 参加者：会員14名、その他関係者14名

2. 除草剤普及研究会及び病虫害等防除薬剤調査普及研究会の活動

- (1) 幹事会の開催 令和4年6月30日 (当協会事務室)
 - ・令和3年度活動実績報告及び令和4年度活動方針について協議

(2) 現地研修会

日時：令和4年9月30日
ところ：都立神代植物公園・同植物多様性センター
テーマ：水辺の植物の生態、花のつくり、植物と人とのかかわりあい等
講師：箱根ゆみ子氏（都立神代植物公園植物多様性センター職員）
加藤裕一氏（日本森林林業振興会グリーン・サークル講師）
参加者：会員等7名、事務局2名

(3) 現地検討会の開催

日時：令和4年10月5日、6日
ところ：長野県内（下水内郡栄村）
テーマ：長野県栄村におけるツキノワグマ忌避剤効果試験地及びナラ枯れ防除試験地の
現地視察・検討
講師：小山泰弘氏及び柳澤賢一氏（長野県林業総合センター職員）
参加者：会員8名、協会会長・事務局3名

(4) 刊行物等の付表登録薬剤一覧の更新

ア除草剤普及研究会「除草剤一覧」

イ病虫害等防除薬剤調査普及研究会

- ・「緑化木の病虫害 見分け方と防除薬剤」（改訂第4版）付表
 - ・「林木・苗畑の病虫獣害 見分け方と防除薬剤」（改訂版）付表
- を、それぞれ2022年7月現在有効なものに更新し、協会会員及び関係者に配布した。

(5) 関係資料の配布

- ・林業白書の概要、林野庁関係予算等関係資料を会員に配布した。

(6) その他の普及活動

国有林、民有林、関係団体等との連携及び日常の活動を通じて林業薬剤の普及に努めるほか、ホームページの活用等により関係者へ情報提供、資料を配布した。また、部外者からの質問・相談に対応した。その際、協会への加入の勧誘も行った。

【 刊行物 】

1. 機関誌「林業と薬剤」の発行（年 4 回）
No.240(6 月)、No.241(9 月)、No.242(12 月)、No.243(3 月)を作成、発刊、いずれも会員、関係機関等に配布、購読者に販売した。
2. 「林薬協ニュース」の発行 1 回
No.86(令和 4 年 9 月 10 日)を作成し、会員、関係機関等に配布した。
3. 改訂第 4 版「緑化木の病虫害一見分け方と防除薬剤」等の販売
病虫害等防除薬剤調査普及研究会の活動として作成した改訂第 4 版「緑化木の病虫害一見分け方と防除薬剤」等の販売に努めた。また、【 普及関係 】の項で記述した通り、刊行物等の付表登録薬剤一覧を更新し、本体とセットで販売することとした。

【 その他 】

1. 「日本林業協会」、「緑の安全推進協会」、「日本森林学会」ほか関係団体、関係学会等に加盟、関連するシンポジウム等への参加等により連携の維持・強化、情報交換等に努めた。
2. 「第 61 回農林水産祭」(令和 4 年 11 月)等に協賛。林野庁等が主催する「みどりの感謝祭」(令和 4 年 5 月 14 日開催)について、協賛、参加した。また、大分県で開催(令和 4 年 11 月 13 日開催)された全国育樹祭についても協賛、参加した。
3. 三重県伊勢市で開催された関西地区林業試験研究機関協議会保護部会(令和 4 年 7 月 19 日・20 日開催)に参加し、試験研究についての情報交換、研究者との交流を図った。
4. 日本樹木医会総会(令和 4 年 6 月 3 日)〈三重県〉は新型コロナウイルス感染症の影響で書面等での開催となり、例年のように樹木医関係者等との交流を図ることはできなかった。

Ⅱ 令和4年度決算書

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金	469,822	77,829	391,993
普通預金	7,049,901	12,061,940	△ 5,012,039
郵便振替貯金	463,817	423,893	39,924
未収入金	132,670	155,400	△ 22,730
流動資産合計	8,116,210	12,719,062	△ 4,602,852
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	217,000	0	217,000
施設拡充引当資産	2,213,744	2,213,724	20
特定資産合計	2,430,744	2,213,724	217,020
(2) そ の 他 固 定 資 産			
保証金	1,000,000	1,000,000	0
電話加入権	133,379	133,379	0
その他固定資産合計	1,133,379	1,133,379	0
固定資産合計	3,564,123	3,347,103	217,020
資 産 合 計	11,680,333	16,066,165	△ 4,385,832
Ⅱ. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預り金	73,498	109,239	△ 35,741
前受金	4,400	519,200	△ 514,800
流動負債合計	77,898	628,439	△ 550,541
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	217,000	0	217,000
固定負債合計	217,000	0	217,000
負 債 合 計	294,898	628,439	△ 333,541
Ⅲ. 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産			
一般正味財産	11,385,435	15,437,726	△ 4,052,291
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,213,744)	(2,213,724)	(20)
正 味 財 産 合 計	11,385,435	15,437,726	△ 4,052,291
負債及び正味財産合計	11,680,333	16,066,165	△ 4,385,832

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	2,460,000	2,460,000	0
維持会員会費	2,240,000	2,240,000	0
賛助会員会費	220,000	220,000	0
受取分担金	4,190,000	4,190,000	0
受取業務分担金	1,750,000	1,750,000	0
受取普及費	2,440,000	2,440,000	0
普及費	840,000	840,000	0
病中研	1,100,000	1,100,000	0
除普研	500,000	500,000	0
事業収益	8,404,564	9,892,380	△ 1,487,816
委託試験収益	7,579,000	9,072,600	△ 1,493,600
刊行物収益	825,564	819,780	5,784
刊行物	158,964	164,180	△ 5,216
広告料	666,600	655,600	11,000
雑収益	150,745	85,807	64,938
受取利息	137	187	△ 50
雑収益	150,608	85,620	64,988
経常収益計	15,205,309	16,628,187	△ 1,422,878
(2) 経常費用			
事業費	15,082,693	15,951,551	△ 868,858
試験費	9,091,680	9,882,464	△ 790,784
普及費	3,077,618	3,163,151	△ 85,533
刊行物発行費	2,913,395	2,905,936	7,459
管理費	4,174,907	4,833,953	△ 659,046
人件費	2,503,151	3,083,193	△ 580,042
給与手当	2,209,467	2,829,911	△ 620,444
法定福利費	216,625	236,717	△ 20,092
厚生費	12,393	16,565	△ 4,172
退職金	64,666	0	64,666
旅費	122,466	120,571	1,895
旅費	0	3,520	△ 3,520
交通費	122,466	117,051	5,415
事務費	468,093	484,772	△ 16,679
消耗品費	46,079	55,586	△ 9,507
印刷費	9,637	0	9,637
通信費	412,377	429,186	△ 16,809
諸費	1,081,197	1,145,417	△ 64,220
団体賛助金	310,000	310,000	0
事務所費	355,105	355,105	0
光熱水料	34,283	34,159	124
諸謝金	126,408	124,289	2,119
会議費	172,243	116,811	55,432
公租公課	50,387	165,702	△ 115,315
雑費	32,771	39,351	△ 6,580
経常費用計	19,257,600	20,785,504	△ 1,527,904
当期経常増減額	△ 4,052,291	△ 4,157,317	105,026

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2.経 常 外 増 減 の 部			
(1)経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2)経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 4,052,291	△ 4,157,317	105,026
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	15,437,726	19,595,043	△ 4,157,317
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	11,385,435	15,437,726	△ 4,052,291
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	11,385,435	15,437,726	△ 4,052,291

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

一般社団法人 林業薬剤協会

(単位：P)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会 費 収 入	2,460,000	2,460,000	0	
維持 会 員 会 費	2,240,000	2,240,000	0	
賛 助 会 員 会 費	220,000	220,000	0	
分 担 金 収 入	4,190,000	4,190,000	0	
業 務 分 担 金 収 入	1,750,000	1,750,000	0	
普 及 費 収 入	2,440,000	2,440,000	0	
普 及 費 研 究	840,000	840,000	0	
病 中 研 究	1,100,000	1,100,000	0	
除 普 研 究	500,000	500,000	0	
事 業 収 入	5,820,000	8,404,564	2,584,564	
委 託 試 験 費 収 入	5,000,000	7,579,000	2,579,000	
刊 行 物 収 入	820,000	825,564	5,564	
雑 収 入	100,200	150,745	50,545	
利 息 収 入	200	137	△ 63	
雑 収 入	100,000	150,608	50,608	
事業活動収入計	12,570,200	15,205,309	2,635,109	
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出	14,904,480	14,930,359	25,879	
試 験 費 支 出	8,854,370	8,995,983	141,613	
普 及 費 支 出	3,140,110	3,043,983	△ 96,127	
刊 行 物 発 行 費 支 出	2,910,000	2,890,393	△ 19,607	
管 理 費 支 出	4,170,720	4,110,241	△ 60,479	
人 件 費 支 出	2,394,720	2,438,485	43,765	
給 与 手 当 支 出	2,165,100	2,209,467	44,367	
法 定 福 利 費 支 出	205,620	216,625	11,005	
厚 生 費 支 出	24,000	12,393	△ 11,607	
旅 費 交 通 費 支 出	164,000	122,466	△ 41,534	
旅 費 支 出	30,000	0	△ 30,000	
交 通 費 支 出	134,000	122,466	△ 11,534	
事 務 費 支 出	481,000	468,093	△ 12,907	
消 耗 品 費 支 出	60,000	46,079	△ 13,921	
印 刷 費 支 出	3,000	9,637	6,637	
通 信 費 支 出	418,000	412,377	△ 5,623	
諸 費 支 出	1,131,000	1,081,197	△ 49,803	
団 体 賛 助 金 支 出	310,000	310,000	0	
事 務 所 費 支 出	355,000	355,105	105	
光 熱 水 料 費 支 出	35,000	34,283	△ 717	
諸 謝 金 支 出	126,000	126,408	408	
会 議 費 支 出	100,000	172,243	72,243	
公 租 公 課 支 出	169,000	50,387	△ 118,613	
雑 費 支 出	36,000	32,771	△ 3,229	
事業活動支出計	19,075,200	19,040,600	△ 34,600	
事業活動収支差額	△ 6,505,000	△ 3,835,291	2,669,709	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額		備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	217,000	217,020	20	
退職給付引当資産取得支出	217,000	217,000	0	
設備拡充引当資産取得支出	0	20	20	
投資活動支出計	217,000	217,020	20	
投資活動収支差額	△ 217,000	△ 217,020	△ 20	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	5,368,623	0	△ 5,368,623	
当期収支差額	△ 12,090,623	△ 4,052,311	8,038,312	
前期繰越収支差額	12,090,623	12,090,623	0	
次期繰越収支差額	0	8,038,312	8,038,312	

収支計算書に対する注記

(注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・未収金・仮払金・未収還付税金・未払金・預り金・仮受金・未払法人税等及び未払消費税を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載しておりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	77,829	469,822
普 通 預 金	12,061,940	7,049,901
郵便振替貯金	423,893	463,817
未 収 入 金	155,400	132,670
合 計	12,719,062	8,116,210
前 受 金	519,200	4,400
預 り 金	109,239	73,498
合 計	628,439	77,898
次期繰越収支差額	12,090,623	8,038,312

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額		
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現金		469,822		
普通預金				
	三菱UFJ銀行大伝馬町支店	4,225,033		
	三井住友銀行東京中央支店	2,824,868		
郵便振替貯金		463,817		
未収入金	「林業と薬剤」購読料ほか	132,670		
流動資産合計			8,116,210	
2. 固 定 資 産				
(1) 特 定 資 産				
退職給付引当資産				
普通預金				
	三井住友銀行東京中央支店	217,000		
施設拡充引当資産				
普通預金				
	三菱UFJ銀行大伝馬町支店	2,213,744		
特定資産合計		2,430,744		
(2) そ の 他 固 定 資 産				
保証金	事務所保証金	1,000,000		
電話加入権		133,379		
その他固定資産合計		1,133,379		
固定資産合計			3,564,123	
資産合計				11,680,333
II 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
預り金	職員に対する社会保険料等	73,498		
前受金	「林業と薬剤」5年度購読料	4,400		
流動負債合計			77,898	
2. 固 定 負 債				
退職給付引当金		217,000		
固定負債合計			217,000	
負債合計				294,898
正味財産				11,385,435

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 資 産	0	217,000	0	217,000
施 設 拡 充 引 当 資 産	2,213,724	20	0	2,213,744
小 計	2,213,724	217,020	0	2,430,744
合 計	2,213,724	217,020	0	2,430,744

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 資 産	217,000	()	()	(217,000)
施 設 拡 充 引 当 資 産	2,213,744	()	(2,213,744)	()
小 計	2,430,744	(0)	(2,213,744)	(217,000)
合 計	2,430,744	(0)	(2,213,744)	(217,000)

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退 職 給 付 引 当 金	0	217,000	0	0	217,000
合 計	0	217,000	0	0	217,000

令和5年4月17日

監査報告書

一般社団法人林業薬剤協会

会長 田中 潔 殿

監事 福山 研二



監事 牧 司



私たち監事は、一般社団法人林業薬剤協会の令和4年4月1日から令和5年3月31日の事業の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重要な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当協会の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。